



伊豆半島にゆかりのある作家とその作品を、土地という切り口から読み解いた前回のジオ文豪カフェ「峠の男たち」から3年。「峠の男たち」が文学とジオパークとの新しい関係性について考えながら帰ってきました。

トークは「峠とは越えるべきもの」、「異世界への扉」の二部構成です。

トークの後は夕涼みしながら文豪気分で天城峠の麓の集落、湯ヶ島を歩く「ジオ文豪ウォーク」も開催します。(希望者対象)

会場アクセス (伊豆市湯ヶ島 117-2 伊豆市湯ヶ島市民活動センター)



修善寺駅から車で 20 分ほど



修善寺駅からバスで 30 分ほど (詳細は東海バスへ)
湯ヶ島バス停より徒歩 10 分ほど



徳山加陽さん

長泉町井上靖文学館の学芸員。いつもシュワシュワとしたアイデアの泡に包まれています。「地図で読む松本清張」の著者の一人。



安藤裕夫さん

長年国語の先生をしてきた文学系ジオガイド。夜には一杯傾けながら、どうやってジオ文豪カフェをおもしろくしてやろう、と作戦を練っています。



辻修次さん

伊豆半島ジオパークの文化系専任研究員。バリッとその場を取りまとめてくれるはず。

主催 (一社) 美しい伊豆創造センター ※定員 先着15名

お申し込み・お問い合わせ ジオパーク推進部 ☎ 0558-72-0520



伊豆半島ジオパーク
IZU PENINSULA GEOPARK

お申込みフォームQRコード➡



※新型コロナウイルスの感染拡大防止のためマスク着用・消毒・検温にご協力ください。また状況によってはイベントの開催形式の変更や延期の場合があります。